

爬虫両棲類学会報投稿規定

(1999年2月29日制定, 2021年11月30日改定第3版)

1. 投稿資格

投稿原稿の著者は、本学会会員に限らない。投稿される原稿は、原則として未発表のものとする。

2. 著作権

爬虫両棲類学会報に受理または掲載されたすべての内容の著作権は日本爬虫両棲類学会に帰属する。図表の転載には学会の許可が必要である。掲載内容の電子ファイルは、掲載後2年間以上経過したものに限り、著者個人のWebサイト及び機関レポジトリ等で公開できる。

3. 原稿受付

原稿は投稿規定に沿ったもののみを受け付ける。また、内容が当会報に相応しくないと編集委員会が判断した場合は、掲載を断ることがある。投稿手順や原稿の書き方を解説した投稿ガイドが当学会のホームページ(URLは本誌表紙裏参照)に掲載されているので、必ず確認してから投稿する。

4. 原稿区分

投稿された原稿は、原著論文、報文、一例報告、総説、研究資料、書評、再録論文、その他のいずれかの区分で取り扱う。原稿の区分は原則として編集委員会が判断するが、著者からの申し出があれば考慮する。

5. 査読

投稿された原稿のうち、原著論文については、編集委員会が指定する複数の識者の査読を受けるものとする。原著論文としての扱いを希望する場合は、原稿提出時にその旨申請する。また、著者の申請がなくても、編集委員会が学術的な内容に関して査読の必要性を認める場合には、原著論文としての投稿を著者に求めることがある。

6. 用語とページ数制限

投稿原稿は和文とするが、図、表の説明には英文の併記が望ましい。原稿の長さは原則として、刷り上がり20ページ以内とする。これを超過するものについては、編集委員会が認めた場合に限り掲載するものとし、その際には超過ページ印刷代の負担を著者に求めることがある。

7. 原稿の提出方法

原則としてE-mailの添付ファイルとして投稿する。E-mail投稿の詳細及びE-mailを使えない場合の投稿方法については、投稿ガイドを参照する。

投稿先アドレス bhjs-ms-center@herpetology.jp

8. 原稿の体裁

句読点は「, .」を用いる。生物の学名にのみ斜体を用いる。地名はなるべく緯度、経度を示す。

脚注は表を除き、原則認めない。

9. 原稿の構成

原稿の構成は、本文原稿、表、図の3種類とする。

a) 本文原稿

原則としてMicrosoft Office Wordを使用して単一のファイルとする。表紙、記事情報、本文、図の説明ページの4項目とし、項目ごとにページを改める。

a-1) 表紙：和文で題目、全著者名、全著者の所属及びその所在地(郵便番号を含む)、責任著者名及びそのE-mailアドレス、投稿年月日、図、表の枚数を記す。

a-2) 記事情報：和文、及び英文で題目、全著者名、所属及びその所在地(郵便番号を含む)をこの順に記す。

a-3) 本文：序文、材料及び方法、結果、考察、謝辞、引用文献の順を原則とするが、一例報告等では必ずしもこの限りでない。本文中での文献引用及び引用文献の表記の仕方は、最新号及び投稿ガイドに従う。

a-4) 図の説明ページ：図1、図2…と通し番号をつけ、図題、及び説明文を記す。

b) 表：原則としてMicrosoft Office Excelで作成する。上部に表1. …と通し番号をつけ、次いで表題、及び説明文を記入する。原則として縦罫を用いない。

c) 図：原則としてJPGかPDF形式で提出する。カラーで入稿する場合、掲載時にカラーとするかモノクロとするかをファイル名に明記する。カラー図版の製版代は原則として著者負担とするが、第1著者が学会員であり、かつ製版代の支払いが困難な場合、学会が当該金額を負担することがある。

10. 校正

原則として編集委員会が行う。特別な事情のある場合を除き、初校のみ著者のチェックを伴うものとする。

11. 別刷

PDF版は無料で配布する。印刷版は50部単位で購入でき、作製費と送料は著者負担。印刷版の別刷を希望する場合は初校返送時に申し出る。

12. 連絡先

原稿送付及び編集に関する連絡は当学会和文誌編集幹事(学会ホームページならびに当会報表紙裏に連絡先を記載)を窓口とする。